



## おおさか食育通信 災害時の食支援事例様式

テ ー マ	令和元年度中ブロック災害時における栄養・食生活支援ネットワークに関する研修会
目 的	<p>災害が起こった際、大量の食糧を必要とする特定給食施設においては自助が原則であり、平常時から施設内体制整備や食糧備蓄だけでなく、地域との連携体制を構築することが重要である。</p> <p>また、中ブロックの各特定給食研究会と保健所では、この問題を地域社会全体で考えていくため、災害発生時の食事提供をテーマに各組織・団体等の取り組みを共有し、連携を図ってきた。</p> <p>昨年度は大阪府においても地震や台風により被害がもたらされ、災害時の対応の重要性が再認識されたことを受け、今年度は、災害時の対応や訓練等について具体的に施設間で情報共有を行い、より実践的な体制整備を構築するよう各組織・団体等に対し促すことを目的とする。</p>
対 象 ・ 参 加 者 数	大阪府富田林・藤井寺・八尾市保健所管内特定給食研究会会員、会員外の管内給食施設、地域活動栄養士、市町村職員 138施設151名
実 施 主 体	大阪府富田林保健所管内特定給食研究会、大阪府藤井寺保健所管内特定給食研究会、八尾市保健所管内特定給食研究会 大阪府富田林保健所、大阪府藤井寺保健所、八尾市保健所
実 施 時 期	令和元年10月1日(火)午後2時～4時30分
内 容 ・ 方 法	<p>1 講演 「災害の理解と災害時の対応」 講師 東大阪大学短期大学部 実践食物栄養学科 教授 松井 欣也 氏</p> <p>2 グループワーク 「各施設・事業所等におけるマニュアルの整備及び非常食備蓄の現状と課題について」</p> <p>※ その他、備蓄食の展示・試食を実施。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

<p>成 果 ・ 感 想</p>	<p>○研修会後のアンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演、グループワークともに、ほぼ全員が「たいへん参考になる」、「やや参考になる」との回答であった。</li> <li>・「職員全員に備蓄食の場所、提供方法などを周知していかないといけないと感じた」、「栄養士だけでなく、施設全体で考えて行動しないといけないと感じた」、「グループワークをすることによって、気付きや発見があり、自施設に帰ったらもう一度備蓄職について見直していこうと思った」という声が聞かれ、施設での災害時の備えについて改めて考える機会とすることができた。</li> </ul>
<p>担当窓口(連絡先)</p>	<p>大阪府富田林保健所 (電話番号 0721-23-2681)  大阪府藤井寺保健所 (電話番号 072-955-4181)  八尾市保健所 (電話番号 072-994-0661)</p>